

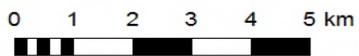
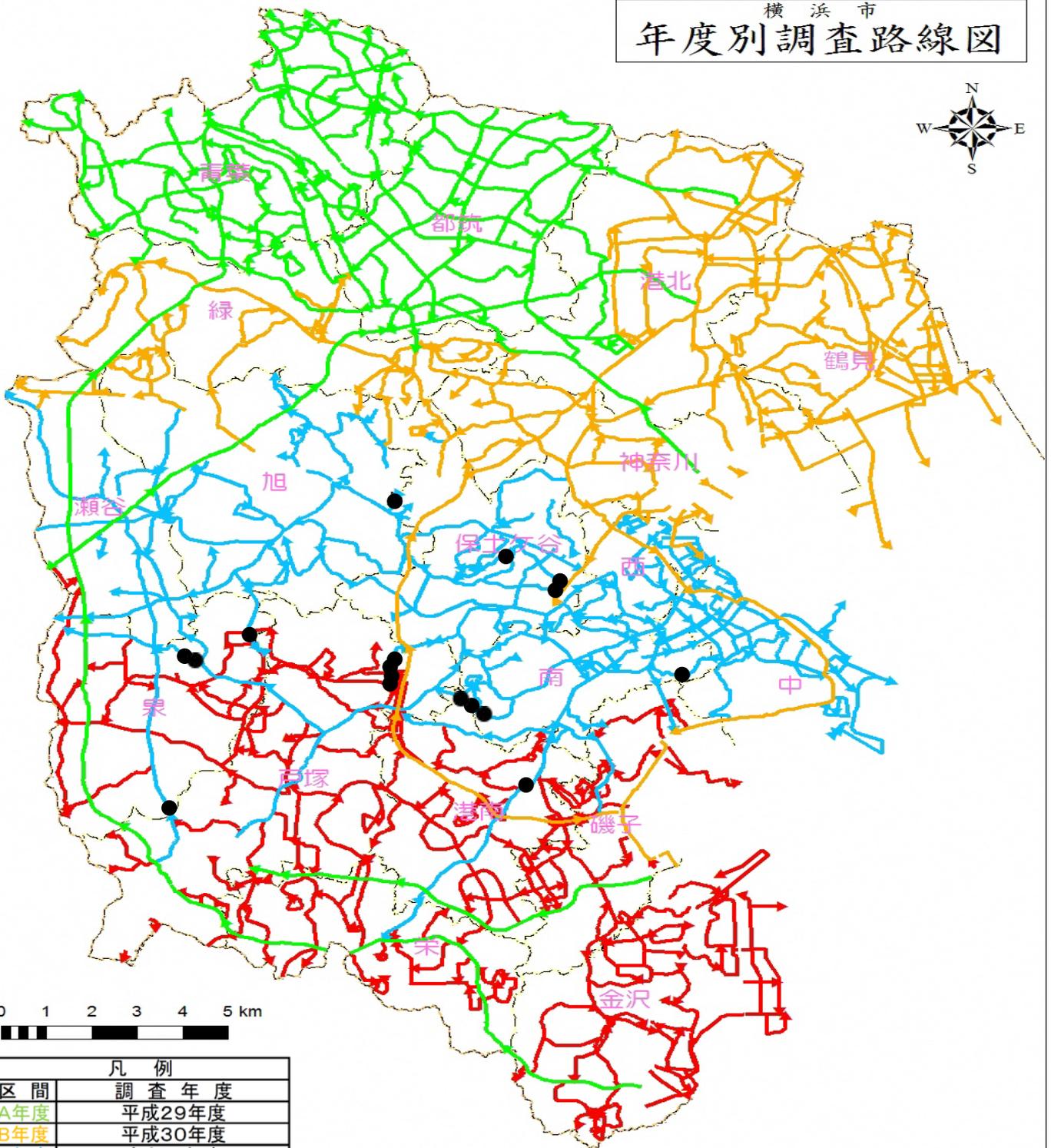
◆ 路面性状調査

路面性状調査とは、路面性状自動測定装置の性能確認試験（一般財団法人土木研究センターにて実施）に合格した測定機器により、舗装のひび割れ・わだち掘れ・平坦性及びパッチング箇所数を調査し、そのデータを基に道路の現状を把握する調査です。横浜市では、バス通りなどの幹線道路約 1,000km を 4 分割し、毎年約 250km 程度を調査しています。令和元年度は、内陸部の旭区・瀬谷区、中央部の南区・保土ヶ谷区、沿岸部の西区・中区を主とした範囲で 242km の調査を行いました。

◆ 主な損傷結果

区名	調査路線数及び距離	令和 2 年度までの補修箇所	
南区	2 路線、400m	8 箇所	こども医療センター付近ほか 1 路線
港南区	1 路線、50m	1 箇所	港南警察署付近
保土ヶ谷区	3 路線、200m	4 箇所	大門通りほか 2 路線
戸塚区	1 路線、200m	4 箇所	東戸塚駅付近
泉区	3 路線、200m	4 箇所	かまくらみちほか 2 路線
計	10 路線、1.05km	21 箇所	

横浜市 年度別調査路線図



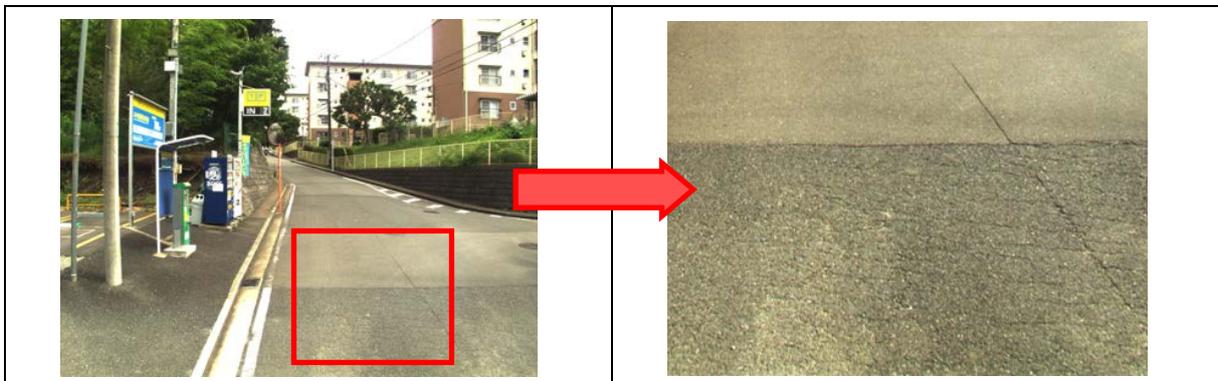
凡例	
区間	調査年度
A年度	平成29年度
B年度	平成30年度
C年度	令和元年度
D年度	令和2年度
●	主な損傷箇所

横浜市建築局 都市計画基本図データ及び行政界データにより作成

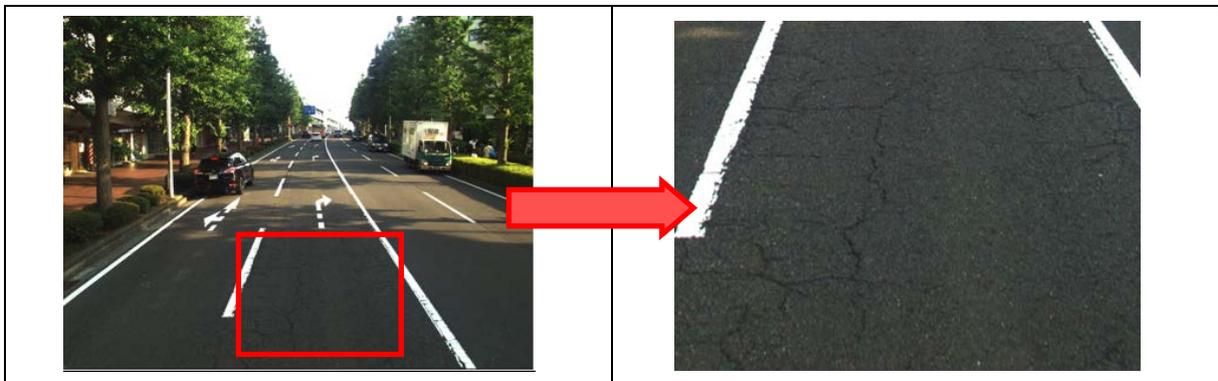
【損傷事例】



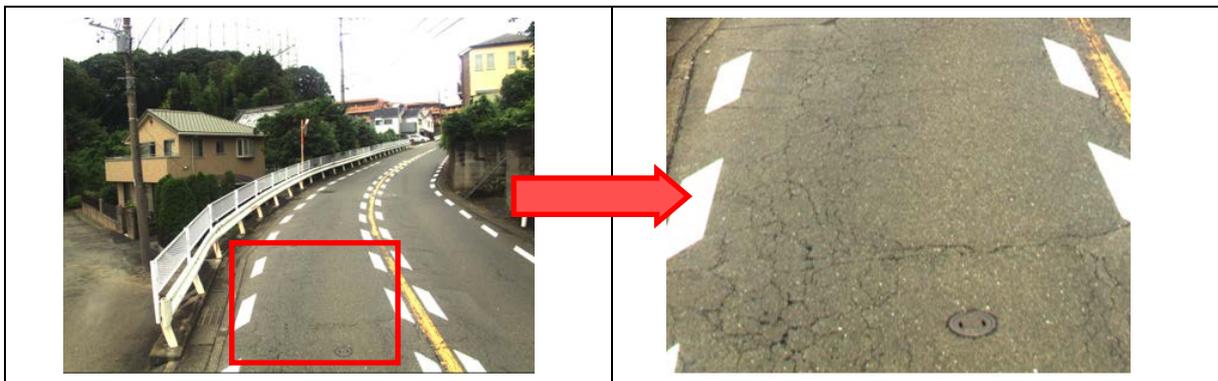
南区：六ツ川二丁目付近



保土ヶ谷区：川島町付近



戸塚区：品濃町付近



泉区：新橋町付近